

令和5年度社会福祉法人雪国ボランティア事業報告

I 【法人の運営状況】

1 理事会・評議員会

開催日 令和5年6月2日（理事会）

会場 障害者支援施設マイトーラ会議室

議案 ・令和4年度社会福祉法人雪国ボランティア事業報告について
・令和4年度社会福祉法人雪国ボランティア会計決算について
・役員任期満了に伴う候補の推薦について
・定時評議員会の招集日程等について

報告事項・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について

開催日 令和5年6月23日（定時評議員会）

会場 障害者支援施設マイトーラ 会議室

議案 ・令和4年度社会福祉法人雪国ボランティア事業報告について
・令和4年度社会福祉法人雪国ボランティア会計決算について
・任期満了に伴う役員の推薦について

開催日 令和5年6月23日（理事会）

会場 障害者支援施設マイトーラ会議室

議案 ・理事長の選定について
・業務執行理事の選定について

開催日 令和6年3月28日（理事会）

会場 障害者支援施設マイトーラ 会議室

議案 ・令和5年度社会福祉法人雪国ボランティア第2次補正予算（案）について
・令和6年度社会福祉法人雪国ボランティア事業計画（案）について
・令和6年度社会福祉法人雪国ボランティア会計予算（案）について
・評議員退任に伴う候補の推薦について
・障害者支援施設マイトーラ運営規程の改正（案）について
・指定障害者福祉サービス短期入所事業所マイトーラ運営規程の改正（案）について

2 監査

開催日 令和5年5月29日

会場 障害者支援施設マイトーラ 相談室

監査事項 ・令和4年度の理事の業務執行の状況および財産の状況について監査を実施した。

3 幹事会

特別に協議戴く重要案件等が無かったため、「事業計画と予算並びに事業報告と決算」等での報告で幹事会に代えた。

【利用者（入所者）の状況】

令和6年3月31日現在

市 郡 名	市町村名	人 数	男・女別	(内低肺機能者)
南魚沼市		16名	男 7・女 9	
魚沼市		9名	男 5・女 4	
南魚沼郡	湯沢町	3名	男 1・女 2	
中魚沼郡	津南町	1名	男 1・女 0	
十日町市		12名	男 8・女 4	
上越市		2名	男 1・女 1	
長岡市		1名	男 1・女 0	
柏崎市		3名	男 3・女 0	
東京都		2名	男 2・女 0	
小千谷市		4名	男 1・女 3	
新潟市		1名	男 1・女 0	
		54名	男 31・女 23	(男 ・女)

市町村別入所者・人数 (R5. 4. 1～R6. 3. 31)

南魚沼市	3名	上越市	1名
十日町市	2名	柏崎市	1名
魚沼市	1名	新潟市	1名
小千谷市	1名		

市町村別退所者・人数 (R5. 4. 1～R6. 3. 31)

南魚沼市	2名
新発田市	1名
長岡市	2名

【事業の稼働率】

(単位：%)

	入所支援	生活介護		入所支援	生活介護
R4/4	80	89	11	84	92
5	80	88	12	82	89
6	78	88	R5/1	88	95
7	80	89	2	89	96
8	82	91	3	86	93
9	83	91			
10	85	94	年間	83	91

【短期入所事業の利用状況（R5. 4. 1～R6. 3. 31）】

1. 短期入所

総利用延人数	一日平均人数	前年度実績
1,311	3.58	1,057/2.89

月別	R5/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6/1	2	3
延人数	92	105	103	107	111	108	139	138	118	92	85	113

【月別面会状況（R5. 4. 1～R6. 3. 31）】

月別	R5/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6/1	2	3
延人数	6	4	23	14	16	17	12	7	23	13	10	11
日平均	0.2	0.1	0.8	0.5	0.5	0.6	0.4	0.2	0.7	0.4	0.3	0.4

※ コロナ感染予防策にて窓越し面会とオンライン面会

【入所者の障害支援区分表（R6. 3. 31 現在）】 重複あり

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性利用者	0	0	1	6	9	14	30
女性利用者	0	0	2	4	3	15	24

【入所者の障害起因疾患名（R6. 3. 31 現在）】 重複あり

疾患名	人数(人)	疾患名	人数(人)
脳性麻痺	8	脳腫瘍	1
頸椎損傷	6	急性硬膜外血腫	1
脳内出血	4	高次脳機能障害	1
脊髄小脳変性症	2	シャリコマリーツース病	1
脳梗塞	7	精神遅滞	1
脳挫傷	3	筋ジストロフィー	1
知的障害	7	パーキンソン病	1
低酸素脳症	2	視覚障害	1
精神疾患	4	脊髄損傷	1
多発性硬化症	1	合計	54
白質脳症	1		

【年齢別・男女別人員構成 (R6. 3. 31 現在)】

男性 女性 合計

18 歳以上 20 歳未満	0	0	0
20 歳以上 30 歳未満	0	0	0
30 歳以上 40 歳未満	0	0	0
40 歳以上 50 歳未満	7	0	7
50 歳以上 60 歳未満	9	10	19
60 歳以上 70 歳未満	8	9	17
70 歳以上 80 歳未満	6	3	9
80 歳以上	0	2	2
合 計	30	24	54
最高年齢	79	85	
最小年齢	40	50	
平均年齢	60.1	66.7	63.3

【法人・施設事業実施状況一覧表（令和5年度）】

実施日	実施内容
4月20日	イベント「春の宴」 家族会総会
5月10日	職員健康診断
5月16日	冷暖房切替作業
5月29日	法人役員（監事）による監査
6月2日	理事会開催
6月5日	コロナワクチン接種第1班
6月12日	コロナワクチン接種第2班
6月21日	総合避難訓練、消防設備点検
6月23日	定時評議員会開催
6月26日	コロナワクチン接種第3班
7月2日	防災訓練に伴う欠之上地区地域自主防災組織の避難誘導の確認のため来所
8月19日	イベント「納涼祭」
9月5日	南魚沼消防署本部立入検査
9月14日	自治会主催「焼肉大会」
9月15日	障害福祉施設の見学交流体験にて八海高校生徒2名来所
10月7日	職員健康診断（特定業務従事者）
10月11日	冷暖切替作業
10月25日	消防避難訓練、消防設備点検
10月30日	コロナワクチン接種第1班
10月30日	コロナワクチン接種第2班
11月5日	家族会清掃活動
11月13日	入所者対象インフルエンザ予防接種
12月20日	イベント「入所者クリスマス忘年会」
3月28日	理事会開催
※ 階段昇降機・ダムウエーター・電気設備・消防設備は、定期点検実施。	

【職員研修・会議出張状況（令和5年度）】

開催日	氏名	内容（用件）	行先	所属
4月14日	全職員	施設内研修「クリーン作戦」		
4月18日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課長
4月20日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課長
4月20日	全職員	施設内研修「今中理事長講話」第1班		
	全職員	施設内研修「今中理事長講話」第2班		
5月12日	井口 隆人	八海高等学校福祉課特別講義	南魚沼市	施設長
5月16日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課長
5月18日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課長
5月31日	池田 和幸	コロナ感染症に関する感染予防・拡大防止講習会 オンラインにて		
6月1日	池田 和幸	南魚沼市・湯沢町自立支援協議会暮らし部会	湯沢町	課長
6月6日	井口 隆人	障害福祉関係施設長会議 オンラインにて		
6月13日	岡部 侑斗	感染予防対策リーダー養成研修プログラム	南魚沼市	支援員
6月14日	池田 和幸	南魚沼地域施設感染対策検討会 オンラインにて		
	高橋 宏伸	南魚沼地域施設感染対策検討会 オンラインにて		
6月15日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課長
6月20日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課長
	井口 隆人	南魚沼市社会福祉協議会定時評議員会	南魚沼市	施設長
6月23日	井口 隆人	新潟県身体障害者施設協議会施設長・庶務課長会議	長岡市	施設長
	星 優	新潟県身体障害者施設協議会施設長・庶務課長会議	長岡市	課長
6月30日	井口 隆人	南魚沼市ボランティアセンター運営会議	南魚沼市	施設長
7月4日	井口 隆人	南魚沼市自立支援協議会	南魚沼市	施設長
7月5日	池田 和幸	魚沼圏域障害者地域生活支援連絡調整会議	南魚沼市	課長
7月6日	全職員	施設内研修「知的障害者の施設支援について」		
7月17日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課長
7月20日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課長
	井口 隆人	全国身体障害者施設協議会研究大会	高崎市	施設長
	星 優	全国身体障害者施設協議会研究大会	高崎市	課長
7月21日	井口 隆人	南魚沼市高齢者福祉・介護保険事業計画検討委員会	南魚沼市	施設長
7月27日	加藤 友里	新潟県身体障害者施設協議会職員研修会 オンラインにて		
8月7日	岡部 侑斗	感染予防対策リーダー養成研修プログラム	南魚沼市	支援員
8月9日	井口 隆人	湯沢町自立支援協議会	湯沢町	施設長
8月10日	林 みどり	サービス管理責任者更新研修	新潟市	主任

8月17日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
8月22日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
9月4日	大平 真澄	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）	新潟市	支援員
9月8日	池田 和幸	サービス管理責任者更新研修	新潟市	課 長
9月9日	保坂 敦典	喀痰吸引研修	長岡市	支援員
	高橋 智巳	喀痰吸引研修	長岡市	支援員
9月13日	清水 晴美	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（中堅職員コース）	新潟市	支援員
9月19日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
9月21日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
	井口 隆人	安全運転店管理者等講習会	南魚沼市	施設長
9月23日	保坂 敦典	喀痰吸引研修	長岡市	支援員
	高橋 智巳	喀痰吸引研修	長岡市	支援員
9月28日	岡部 侑斗	感染予防対策リーダー養成研修プログラム	南魚沼市	支援員
10月5日	田村 俊憲	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）	新潟市	支援員
10月17日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
10月19日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
10月20日	井口 隆人	南魚沼市高齢者福祉・介護保険事業計画検討委員会	南魚沼市	施設長
10月24日	全職員	施設内研修「クリーン作戦」		
10月26日	池田 和幸	南魚沼市・湯沢町自立支援協議会暮らし部会	湯沢町	課 長
10月27日	池田 和幸	新潟県身体障害者施設協議会支援担当課長会議	長岡市	課 長
	山崎 望	新潟県身体障害者施設協議会支援担当課長会議	長岡市	相談員
10月31日	関係職員	施設内研修「感染対策」第1班		
11月1日	星 優	危険物取扱者保安講習	新潟市	課 長
11月9日	井口 隆人	南魚沼市自立支援協議会	南魚沼市	施設長
	関係職員	施設内研修「感染対策」第2班		
11月13日	関係職員	施設内研修「感染対策」第3班		
11月16日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
11月17日	星 優	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者会議	長岡市	課 長
	井口 貴子	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者会議	長岡市	事務員
11月21日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
	岡部 侑斗	感染予防対策リーダー養成研修プログラム	南魚沼市	支援員
10月27日	関係職員	施設内研修「感染対策」第1班		
	池田 和幸	相談支援従事者現認研修	新潟市	課 長
10月31日	関係職員	施設内研修「感染対策」第2班		
11月22日	関係職員	改正障害者差別解消法に係る説明会 オンラインにて		

11月24日	井口 隆人	南魚沼市高齢者福祉・介護保険事業計画検討委員会	南魚沼市	施設長
	山崎 望	サービス管理責任者現任研修	長岡市	相談員
11月28日	井口 隆人	関東・甲信越地区身体障害者施設総会・施設長会議	おおみや市	施設長
12月6日	廣田 雅子	相談支援従事者現認研修 オンラインにて		
12月7日	廣田 雅子	相談支援従事者現認研修 オンラインにて		
	菅 亮介	医療・介護連携の推進に向けた特定給食施設等研修会	南魚沼市	栄養士
12月12日	井口 隆人	南魚沼市社会福祉協議会評議員会	南魚沼市	施設長
12月13日	池田 和幸	南魚沼地域施設感染対策検討会 オンラインにて		
	高橋 宏伸	南魚沼地域施設感染対策検討会 オンラインにて		
12月19日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課長
12月20日	全職員	施設内研修「救命救急」		
12月21日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課長
1月11日	廣田 雅子	相談支援従事者現認研修 オンラインにて		
1月16日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課長
1月23日	林 みどり	新潟県障害者虐待防止・権利擁護研修会	新潟県	主任
2月8日	廣田 雅子	相談支援従事者現認研修 オンラインにて		
2月15日	岡部 侑斗	感染予防対策リーダー養成研修プログラム	南魚沼市	支援員
	池田 和幸	相談支援従事者現認研修	新潟市	課長
2月16日	井口 隆人	南魚沼市高齢者福祉・介護保険事業計画検討委員会	南魚沼市	施設長
2月20日	池田 和幸	南魚沼市・湯沢町自立支援協議会暮らし部会	湯沢町	課長
	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課長
2月22日	星 優	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者会議	長岡市	課長
	井口 貴子	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者会議	長岡市	事務員
2月29日	井口 隆人	関東・甲信越地区身体障害者施設総会・施設長会議	長野市	施設長
3月6日	池田 和幸	魚沼圏域障害者地域生活支援連絡調整会議 オンラインにて		
3月11日	齋藤 健二	喀痰吸引指導者講習会	長岡市	看護師
3月12日	井口 隆人	湯沢町自立支援協議会	湯沢町	施設長
3月13日	池田 和幸	南魚沼地域施設感染対策検討会 オンラインにて		
	高橋 宏伸	南魚沼地域施設感染対策検討会 オンラインにて		
3月21日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課長
3月27日	井口 隆人	南魚沼市社会福祉協議会評議員会	南魚沼市	施設長

【令和5年度事業計画による実施状況】

重点項目

項目目標	年度末達成状況
<p>1 施設の運営と継続事業他</p> <p>(1) 施設の運営を安定させるため、利用者の確保に努める。社会福祉法人雪国ボランティアに課せられた社会的使命を果たすため、入所率100%、入所定員60名を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致活動 県内を中心に相談支援事業所や医療機関へ誘致のための働き掛けを開始する。 ・数値目標の設定 令和5年度については、令和5年度末日の入所者数を55名に設定する。なお、年間平均入所者数を52名、法人全体の事業活動収入計を324,239,000円とする数値目標を設定する。 <p>(2) 感染予防対策等を徹底し、休業することなく施設の運営を継続できるよう努める。</p> <p>(3) 動画系SNS「Social Networking Service」を利用し、施設広報及び求人活動を実施する。</p> <p>(4) 「地域における公益的な取組」を実施する責務については、加盟している新潟県社会福祉経営者協議会による「にいがたセーフティネット事業」を継続し推進する。</p> <p>2 職員の定着と採用</p> <p>職員が安心して就業できる雇用環境（雇用状況の安定と確保）の整備を行う。また、必要な看護師、介護職員（支援員）の欠員補充を行う。加えて、職員の資質向上・必要知識・技術の習得のための内部研修の更なる充実を図る。</p>	<p>→ 年度末入所者数54名。 目標とした利用者確保には至らなかった。 年間通しての稼働率は、入所支援83% 生活介護91%であった。</p> <p>→ 県内の県央と県北の機関相談支援センターや主だった病院の相談室を訪問し、施設の特徴や空床状況等を伝え、入所希望者の紹介をお願いして回った。</p> <p>→ 年度途中で一時56名に達したが、死亡退所者が続き、年度末54名の結果となった。 また、年間平均入所者数は51.3名。数値目標を達成できなかった。 法人全体の事業活動収入計は、328,400,827円。 数値目標を達成した。</p> <p>→ 休業することなく年度を終えた。</p> <p>→ インスタグラムとYouTubeでの投稿を開始。ホームページは、ブログ更新を頻繁に実施。広報活動と求人活動には、一定の成果があったと理解している。</p> <p>→ にいがたセーフティネット事業を継続したが、希望者がなく実施に至らなかった。</p> <p>→ 上司や先輩等に対し、意見や考えを自由に発言できる環境を整えたことが、風通しの良い雇用環境の整備に繋がった。看護師、介護職員の欠員補充は年度末にて終了。必要とされた外部・内部研修は、計画通り実施した。特に、外部への研修派遣が難しいことと内部研修も時間外にならざるを得ないことから、WEB研修を採用し、勤務時間内に研修可能な体制を整え、研修の充実を図った。</p>

<p>3 近隣地域との連携強化</p> <p>地域にお住まいの方々との関係を構築すべく、施設広報の配布、福祉車両の貸し出し等を継続し、地域に貢献することで連携を図る。</p> <p>4 施設設備等の保全並びに修繕施設設備等の保全と修繕については、中・長期計画を新たに策定し実施する。</p> <p>5 家族及び身元引受人等からの協力体制</p> <p>(1) 施設の運営方針や個別支援計画を説明し理解と協力を求める。</p> <p>(2) 家族と利用者間にある利用に関する捉え方の違いを改善し、より深い家族との交流と繋がりを構築する。また家族からの支持、支援体制の継続も図る。</p> <p>(3) 施設と利用者が共通認識に立った施設運営を目指す。また、家族へは活動面における協力体制の継続を要請する。</p> <p>(4) 成年後見制度の利用、特に利用者の権利擁護については、家族或いは身元引受人に対して利用に関する積極的な対応を行う。</p> <p>6 施設機能の提供</p> <p>(1) 生活介護並びに短期入所の受入を行う。</p> <p>(2) 生活介護並びに短期入所を希望する利用者の受入を積極的に行い、利用者およびその家族の福祉増進を図る。</p> <p>7 施設事業</p> <p>各種行事を行事委員会の行事計画に基づき実施し、利用者の気分転換や外出機会の増加に努める。</p> <p>8 防災計画</p> <p>マイトーラ消防計画に基づき、防災管理体制を確立、防災計画により火災予防訓練等を実施する。</p> <p>9 地域との交流及びボランティアの受け入れ</p> <p>(1) 地域交流スペースを地域住民に開放、提供</p>	<p>→ 施設広報の配布（欠之上全世帯 100 箇所）。福祉車両の貸し出しは、利用者の家族による利用が 2 回あった。</p> <p>地域の参加を求める「納涼祭」「文化祭」は、コロナ禍にて外部からの参加は求めなかった。</p> <p>→ 収入の確保が見込めず、中・長期計画の作成に至らなかった。次年度の課題とした。</p> <p>→ 個別支援計画作成後、身元引受人等へ開示し、了承を得た。</p> <p>→ ケアプラン作成にあたり、必要に応じて家族との調整を行った。</p> <p>→ コロナ禍にて、家族会等による活動は、清掃活動のみ実施された。</p> <p>→ 今年度、成年後見制度を利用開始した事例が 2 件あった。</p> <p>→ (1)(2) コロナ禍ではあったが、可能な限り家族の希望に添えるよう、受け入れに努めた。その結果として、生活介護並びに短期入所利用実績が向上した。</p> <p>→ 行事計画に基づき、行事等を実施したが、外部での開催が予定された行事には、感染予防を重視し参加しなかった。</p> <p>→ 事業計画通り実施した。</p> <p>→ (1)(2)(3) 感染予防の観点から、ボランテ</p>
---	---

<p>することにより、相互の交流を図る。</p> <p>(2) 施設内行事の受け入れだけでなく、地域行事等へ参加し、地域社会との交流を図る。</p> <p>(3) 地域から理解を得られるよう利用者の作品展示等の機会（文化祭等）や、広報「ひまわりの配布、ホームページ等を利用した広報活動を実施する。</p> <p>(4) 各種団体、個人によるボランティア活動を大切にするとともに新たな個人、団体の受け入れについても幅広く要請を行う。(ボランティア受け入れ計画はボランティア委員会事業計画に基づく。)</p> <p>10 職員の研修</p> <p>職員の資質向上と職務に必要な知識・技能の修得を目的とした施設内外の研修を計画的に実施する。</p> <p>福祉従事者がサービスを提供する場合の留意点を「人に対する思いやりと介護支援に関する視点」とし、利用者が施設の生活にどのように適応し、新たな生活をどう構築するかを利用者と共に考え、実践する能力と支援に必要な知識・技術を有する職員の育成を行う。</p>	<p>ィアの受け入れを制限せざるを得ない状況であったと同時に地域との交流も積極的に行えなかった。文化祭は、コロナ禍のため、中止した。広報の配布は2回。ホームページでは、行事等の実施状況を報告した。</p> <p>→ コロナ禍のため、新しい団体の受入に至らなかった。</p> <p>→ 事業計画にあげた研修予定に則り、該当する職員を対象に研修へ参加（主にWEB研修）させ、全職員を対象とした施設内研修は、ビデオ録画等を用い実施した。</p> <p>→ 知的・精神障害者の支援を学ぶことを目的に、外部講師を招聘し、基礎知識から学んだ。</p>
---	---

II 【各部所の状況】

1 総務課 事務係

総括を兼ねて報告とする。

利用者さんに安全で快適な施設生活を営んで頂けるよう施設の運営を心掛けた。

施設の三大事業である「春の宴」については、新型コロナウイルス感染症を考慮し、家族会役員との協議の上、中止とした。「納涼祭」については、新型コロナウイルス感染症による利用者さんへの感染の不安と職員の体制が整えられないことで中止とし、後日、代替えとして「食事会」を開催した。また、「文化祭」については、感染状況も落ち着き社会的状況を十分に配慮した上で、ご家族の参加を求め、ボランティアさんの協力を得て開催した。久しぶりのご家族参加の行事で、利用者さんにご家族にはたくさんの笑顔が見られ、職員は、施設行

事の大切さを再確認し、緊張しながらも充実した表情で介護支援にあたっていた。

施設の運営状況としては、新規入所者さんの確保に動く中でも利用者さんの退所が続き、目標とした水準を維持することが難しい状況を繰り返した。また、新型コロナウイルス感染症は5類に位置付けられ感染への対応は社会的には緩和されたが、重度高齢者が多くを占める状況に変わらない施設運営は、病院受診や入院を繰り返す利用者さんが多く、看護係及び生活支援係は、その対応に追われた一年間であった。

利用者さんに関する対応としては、利用者さんからの苦情の申立はなかったものの、利用者さん同士のトラブルや利用者さん個人に係る問題点等への対処が難しく、対応に苦慮することがあった。

居室稼働率としては、入所希望者が少ないことと希望者がいても知的・精神障害者が多かったことで、入所調整が進まず結果として稼働率の向上に至らなかった。

常勤職員の動向については、新規学卒並びに中途採用ともに採用はなく、年度末に看護師（定年延長後）の退職が1名あった。

【職員の構成】（令和6年3月31日現在）

男性19名 女性32名 計51名（パート含む）

支援員の男女構成（男性10名 女性26名）

年齢構成（平均年齢44.1歳）

2 生活支援課 支援係

(1) 今年度の入退所の状況は、退所が南魚沼市2名、長岡市2名、新発田市1名の計5名であった。全員が死亡退所であった。

新規入所は、十日町市2名、南魚沼市3名、魚沼市1名、小千谷市1名、柏崎市1名、上越市1名、新潟市1名の計10名であった。

(2) 新型コロナウイルス感染症予防対策として、利用者さんの面会制限や外出制限を行ったが利用者さん（2人）・職員（12人）共に感染者の発生があった。しかしながら、クラスターの発生には至らず経過した。

(3) 感染防止を行いながら、スタッフ会議・事故対策会議を定期に開催し、事故防止の考えや利用者支援の意識統一を図った。

(4) 嘱託歯科医師により定期的に実施された口腔ケア及び食事介助指導、歯科受診指示等により、利用者さんの口腔衛生及び嚥下機能が改善されたことで、利用者さんが肺炎を発症するケースが減り、健康維持に繋がった。

(5) コロナ禍のため、職員間での感染を考慮し、講義や研修は分散しての開催とし、WEB研修も採用した。

(6) 苦情解決の状況

今年度、利用者さんから苦情解決の申出はなかった。

3 生活支援課 支援計画係

- (1) 誕生日に合わせ利用者さんのサービス利用計画見直し、モニタリングも行った。
- (2) 地域生活されている方の計画相談は、他の事業所が行い、入所施設（マイトーラ以外）利用者のサービス等利用計画の作成を行った。
- (3) 支援計画作成のため、利用者から聞き取りを行い、また他部所からも情報を収集し個別支援計画に反映できるよう努めた。
- (4) 短期入所、生活介護のみの利用者への面接およびその受入、他事業所との連絡調整を行いスムーズな利用に努めた。
- (5) 生活支援課の短期入所受入、食事介助、送迎等、生活支援係業務の応援を行った。

4 生活支援課 看護係

- (1) 利用者さん全員、健康診断の結果を嘱託医に報告し、外来受診などについて指示を受け治療につなげた。
- (2) 利用者さんから、健康相談を受け、解決しないケースは、受診時、医師に相談し利用者の不安解消に努めた。
- (3) 日々の健康観察から利用者さんの異常の早期発見に努め、外来受診時、利用者の体調を医師に伝え、必要な治療を滞りなく行えた。
- (4) 保健衛生計画を実行したことで、利用者さん及び職員の健康管理を行うことができた。インフルエンザウイルスとコロナウイルスのワクチン接種は、協力病院と嘱託医の協力により滞りなく行うことができた。全員ではないが、利用者さん・職員共にワクチン接種の必要性についての意識は高いと思われる。
- (5) コロナウイルス感染対応について
施設内外でのコロナウイルス感染者発生時は、施設長を中心とした感染対策会議を速やかに招集し、その後の対応を検討した。（隔離部屋の対応、抗原検査やPCR検査実施の有無、職員の防護具、利用者の行動等）
- (6) 利用者さんの年間外来受診状況

外来受診者数（延べ人数）671人であった。脳外科・泌尿器科・外科の順で受診者数が多かったが、精神科外来の受診者数が増加の傾向にあることも特徴的であった。

脳外科 289人 外科 49人 胸部外科 19人 内科 46人 神経内科 10人
整形外科 3人 歯科 30人 泌尿器科 99人 皮膚科 16人 耳鼻科 7人
精神科 77人 放射線科 4人 救急外来 5人

5 生活支援課 機能訓練係

- (1) 利用者さんが安全かつ安心して施設生活を営めるよう、歩行訓練、立位訓練、筋力増強訓練、関節可動域運動、物理療法を実施した。
- (2) 車いすのメンテナンスと購入

- ①車いすの修理並びに業者への修理依頼を行った。
- ②利用者さんに合った適正な車いすの選定と購入を行った。
- (3) 福祉用具の選定
利用者さんに必要な各種装具の選定と購入を行った。
- (4) リハビリテーションマネジメント計画の策定と継続
利用者のリハビリテーション実施計画を作成し、必要な見直しも行い、実施計画に基づいたカンファレンスも行った。

6 生活支援課 給食係

利用者さんひとり一人の栄養及び熱量を十分に確保することで当初の目的を達成した。
また、嗜好調査の結果を踏まえた献立を作成し、「目で楽しめる食事作り」を心掛けたことで、喫食率も向上し利用者さんに喜ばれる食事提供ができた。

- (1) 利用者さんの栄養及び熱量の十分な確保
嗜好調査、カンファレンス、体重測定などによる情報に加え、直接、食事介助を行うことで利用者さんの喫食状況や栄養状態を把握することができた。また、嗜好調査では、90%の入所者から満足しているとの回答を得た。
- (2) 栄養・マネジメント加算の算定
多部所共同で定期的に手順に沿った見直しを行い、利用者さんに最適な栄養ケアと食事提供を行うことができた。
- (3) 適時・適温の食事提供。喫食2時間前調理の徹底
喫食2時間前の調理を徹底し、居室配膳においては例年行っているように配膳車を利用して適温で食事を提供した。
- (4) 給食職員の衛生管理
手洗い、食品管理、厨房清掃を徹底し、また定期検便も行い食中毒の発生予防に努めたことで、食中毒の発生はみられなかった。
- (5) 行事食（イベント食も含む）を次のとおり実施。
 - 4月 春の特性弁当
 - 5月 子供の日献立、スマイルデザートデイ（メロン）
 - 6月 見どころ御膳、スマイルデザートデイ（アイス）
 - 7月 七夕献立、土用の丑の日、みんなの日曜日、スマイルデザートデイ（白桃）
 - 8月 納涼祭、お盆献立、スマイルデザートデイ（水羊羹）
 - 9月 敬老の日献立、自治会焼肉夕食会、スマイルデザートデイ（モンブラン）
 - 10月 スポーツの日献立、文化祭
 - 11月 福島の郷土食、みんなの日曜日ココイチカレー
 - 12月 冬至献立、クリスマス献立、クリスマス忘年会、大晦日献立
 - 1月 お正月献立、七草雑炊、自治会海鮮祭、スマイルデザートデイ（苺）

2月 節分そば、自治会親睦会、おさしみ献立、新潟の郷土食、スマイルデザートデー (ティラミス)

3月 ひな祭り献立、海鮮丼、スマイルデザートデー (ショコラアイス)

(6) 調理器具、食器等の入替等

予備ミキサー、作業台2台、小鉢2種類の買い替えを行った。皿については、以前使用していたものとは違うデザイン、違う形のものを購入し、華やかなお膳になるような選定を行なった。

(7) 厨房機器、設備の修理

温冷配膳車専用トレイ、ミキサー部品、ガス炊飯器、お茶用ポット、経管栄養用ラック、電気炊飯器、スプーン、まな板、各種皿の買換えを行った。

食器洗浄機は、保守契約による年2回の定期点検により大きな故障なく使用できた。

(8) 掲示物の作成

献立表を華やかなものにして、献立の内容についても簡単な説明を加えることで、食事に対して利用者さんに興味をもって頂けるよう努めた。更に、イベント食に際しては、ポスターを作成し、事前告知することで楽しんでイベント食を食べて頂けるよう努めた。

(9) 食中毒、非常時対応マニュアル研修

有事に備え、委託事業者と合同で各研修を実施し、マニュアル等の再確認を行った。

(10) 福祉施設業務支援ソフトの活用

福祉施設業務支援ソフトを活用し、他部所との情報の共有、情報の整理と保管を効率的に行い、利用者さんへのサービス向上に努めた。

(11) 新型コロナウイルス感染予防対策

新型コロナウイルス感染症に対して、委託事業所と連携し施設内へ感染を持ち込むことがないよう努めた。

7 特定相談支援事業 相談支援センターマイトーラ

(1) サービス等利用計画作成とモニタリング継続計画、併せて29件あった。

(2) サービス等利用計画作成のための面接や聴き取りを行い、利用者の福祉サービス利用の調整を行った。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策を実施した上で、利用者さんと面会する形での聞き取り調査が可能となった。

(3) 職員体制として、相談支援専門員兼務2名、管理者兼務1名で活動した。

(4) 南魚沼市が主催し毎月開催する「相談支援事業所連絡会議」に参加し、情報の収集と計画立案の技法等を習得した。

(5) 「南魚沼市自立支援協議会」に参画し、南魚沼地域の福祉サービス向上に協力した。

Ⅲ【委員会活動報告】

1 広報委員会

広報誌発行を目的に活気溢れる誌面となるよう、記事および情報の収集を行った。
年1回の広報誌発行。

・発行日 令和5年 4月 第60号

配布先

- ・4市2郡の構成市町村並びに関連社会福祉施設
- ・役員、評議員
- ・入所利用者並びにその家族、生活介護並びに短期入所の利用者
- ・県、関係諸団体、県内外福祉施設、欠之上世帯、他

令和5年度より、広報誌の発行を年1回としたことから、10月開催の文化祭での様子をご家族にお伝えすることを目的に「お知らせ版」を特別号としてご家族にのみ配布した。

2 ボランティア委員会

ボランティアの皆さんには、6月以降清拭タオルたたみを主に行って頂いた。また、在宅で簡易ごみ箱作りも行って頂いた。10月の文化祭では、数年ぶりに協力の要請を行った。

毎月地域のボランティア団体に郵送している「予定表」は、例年通りとし、施設の様子等をお知らせした。

実施事業として

- ① 中庭の花壇を利用して、「花のガーデニング」を行い、利用者さんに楽しんでいただき、正面玄関には「花のプランター」を設置し、訪れた方々に癒しを提供する活動を行った。
- ② ボランティア訪問団体並びに延べ人数。
サークル Ami 様、みちの会様、城内ボランティアの会様、民生委員・児童委員協議会様、女性ボランティアの会様、延べ102名よりご協力頂いた。

3 虐待防止委員会

施設内での虐待防止に向けて、活動を行った。

- ① 虐待防止チェックリストによるアンケートを実施（10月）
アンケートを回収し集計した結果を委員会で検討協議し、取り纏めた結果を職員へ周知した。
- ② 今年度、虐待の報告はなかった。

4 防災委員会

施設の防災に関する企画・立案を行い、防災避難訓練等を年間計画に基づき実施した。

- ① 令和5年6月21日 総合消防避難訓練（夜間想定）（南魚沼市消防本部立会）避難訓練、消火訓練
令和5年10月25日 総合消防避難訓練（夜間想定）（南魚沼市消防本部立会）避難訓練、消火訓練
- ② 毎月、自主点検表に基づいた建物・設備の点検
- ③ 救命救急法講習（施設内研修委員会と合同開催）
- ④ 令和5年9月19日南魚沼市消防本部による立入検査がありましたが、特に指摘事項はなかった。

5 家族会委員会

利用者の家族及び保護者により構成される家族会の運営を補助し、援助することを目的に活動を行った。

- ① 令和5年度、家族会総会、春の宴、清掃活動等は、新型コロナウイルス感染予防を目的に、家族会会長と協議の上、ほとんどの行事を中止した。
- ② 事業計画・予算及び事業報告・決算書類の作成等し、家族会会員へ送付した。

6 施設内研修委員会

職員の資質向上を目的に研修等を計画し実施した。

- ① クリーン作戦（4月14日・10月24日）
- ② 知的障害者支援の現場から（7月6日）
- ③ 口腔ケアの重要性について（9月2日）
- ④ 支援向上研修（9月14日 講師：業者）
- ⑤ 感染対策研修（11月9日 3班に分けて）
- ⑥ 救命救急研修（12月20日）
- ⑦ 感染対策実技研修（1月9日）

WEBによる研修（業務時間内を利用）

- ① 虐待防止セミナー
- ② 食中毒及びまん延防止
- ③ 不適切な身体拘束の廃止と適正化研修
- ④ 非常災害時対応
- ⑤ 感染症の予防及びまん延防止

7 行事委員会

新型コロナウイルス感染対策により、春の宴は、ご家族を招かずお食事会として実施。

納涼祭は、利用者のコロナウイルス感染と職員にも感染者があり急遽中止とした。

文化祭は、感染予防対応をとりながら、ご家族をお招きしボランティアさんの協力を得て開催した。

【年間行事】

実施日	行事名	人数	内容
4月	春の宴	43名	コロナウイルス感染予防のため中止。利用者の皆様には、「春の特性弁当」提供し、春を楽しんで頂いた。
8/19	納涼祭	44名	中止にて沖縄料理のみを楽しんで頂いた。花火は、焼肉夕食会後に打ち上げを行った。
10/2	文化祭	53名	模擬店、作品展示、アトラクション（玉入れ）、ハンドベル演奏、リサイクル品コーナー、写真撮影等を企画実施した。
12/20	クリスマス忘年会	47名	ケーキや飲み物を準備し、皆さんで乾杯した。職員による余興（ロシアンルーレット）やプレゼントの配布も行った。また、希望者のみ、ご家族へクリスマスカードを作成し、郵送した。
1/1～4	お正月（三が日行事）	46名	1日にくじ引き、獅子舞い、写真撮影 2・3・4日に初風呂。また、年末に希望者のみ、ご家族へ年賀状を作成し、郵送した。

※ 中止や変更した行事もありましたが、利用者の方々に楽しんで頂こうと、職員は、色々と工夫した行事を企画実施した。

【誕生日昼食外出】

R5/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6/1月	2月	3月
3名	7名	1名	6名	4名	6名	8名	1名	4名	5名	3名	6名

※ 誕生日に外食（昼食）や買い物をしながら外出を楽しんで頂いた。
外食が困難な利用者には、品物を贈ることで対応した。

8 施設外交流委員会

新潟県身体障害者施設協議会主催の交流会は、新型コロナウイルス感染予防のため主催者の意向で、半日開催となった。

実施日	行事名	参加人数	会場
6月28日	県身協主催オセロ交流会	3名	こしじの里しぶみ園
10月1日	県身協主催スポーツ交流会	3名	桜花園体育館

9 実習委員会

(1) 近郊の高等学校より施設見学並びに交流体験・職場体験等の依頼を受け、事業を実施した。

令和5年9月15日 9時10分から15時50分

新潟県立八海高等学校 普通科福祉コース3年生 2名を受け入れた。

10 事故対策委員会

毎月開催している「スタッフ会議」にて、事故報告書・ヒヤリハット報告書を基に事故内容の詳細を確認し検討協議の上、事故防止並びに事故の再発防止に努めた。

また、支援員並びに相談員には、事前に各報告書を確認した上でスタッフ会議に参加してもらっている。

- ① 今年度は、ヒヤリハットを含め、225件の報告がありました。この件数は、ヒヤリハットの報告を些細な部分まで報告を求めたことによるもの。
- ② 新潟県に報告した事故は3件でした。

IV【施設・設備等の整備状況】

1 設備・備品等の新規購入及び入替

[入替]

- ① 支援員室エアコン ② 記録ソフト（ブルーオーシャン）

[新規購入]

電動リモートコントロールベット（2台）

2 廃棄資産

[器具備品]

- ① 無線機 ② 洗濯乾燥機

[ソフトウェア]

- ① 特定相談支援ソフト ② 記録ソフト

V【職員研修の成果】

介護福祉士国家試験合格者 2名